

第11回日本認知症予防学会学術集会で ランチョンセミナーを共催 演題「認知症予防に対するサプリメントの有用性」 にてプロポリス含有食品の臨床試験を発表

株式会社山田養蜂場（所在地:岡山県苫田郡鏡野町、代表:山田英生、以下「山田養蜂場」）の自社研究所である、みつばち健康科学研究所は2022年9月23日(金)~9月25日(日)に福岡国際会議場(福岡県福岡市)で開催された第11回日本認知症予防学会学術集会の共催セミナーにて、プロポリス含有食品の認知機能に関する臨床試験の成果発表を行いました。会期中の23日に開催し、「認知症予防に対するサプリメントの有用性-プロポリス含有食品の臨床試験-」の演題にて、演者として鳥取大学医学部 保健学科認知症予防学講座 浦上克哉 教授、株式会社山田養蜂場本社 みつばち健康科学研究所 所長 八巻礼訓が講演し、藤田医科大学医学部 脳神経内科 渡辺宏久 教授が座長を務めました。

尚、本セミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止策を厳重にとり、会場におけるマスク着用や消毒、参加者の健康状態の確認を講じた上での会場開催と共に、より多くの方が聴講できるLIVE配信を同時に行う「ハイブリッド開催」にて実施しました。



講演中の様子



演者、座長（左より、浦上教授、渡辺教授、八巻）

■ 日本認知症予防学会について

現在、約600万人の日本人が認知症を発症していると推計され、2025年には700万人以上、高齢者の約5人に1人が認知症になると予測されています。高齢化が進む日本において認知症の予防は大きな課題となっています。日本認知症予防学会の目的は、本学会が考えている広義の予防、具体的には第一次予防が認知症の発症予防、第二次予防が認知症の早期発見、早期治療、早期対応、第三次予防が認知症の進行予防、この3つの予防に取り組むことを啓発し、認知症予防のためのエビデンス創出とそれに基づいた実践活動、認知症予防のための人材育成、多職種協働・地域連携を3本柱として活動をしています。

【メディアお問い合わせ先】

株式会社山田養蜂場 営業本部 戦略広報チーム

新井 <ta2251@yamada-bee.com/050-5469-6281> 山下 <ny1972@yamada-bee.com/080-5756-3816>

■ランチョンセミナー開催概要

座長：藤田医科大学医学部 脳神経内科 渡辺宏久 教授

演者：鳥取大学医学部 保健学科認知症予防学講座 浦上克哉 教授

株式会社山田養蜂場本社 みつばち健康科学研究所 所長 八巻礼訓

講演内容：

ブラジル産グリーンプロポリスはこれまでの研究から、認知機能低下の要因である酸化ストレスや炎症、神経伝達機能の低下を抑える可能性が報告されています。また、「中国高地に在住する被験者にプロポリスを 24 カ月 飲用してもらうことで、炎症と認知機能の低下が抑制された」等のヒト試験の結果もあることから、ブラジル産グリーンプロポリスは認知機能低下の予防に有用な素材であると考えられます。

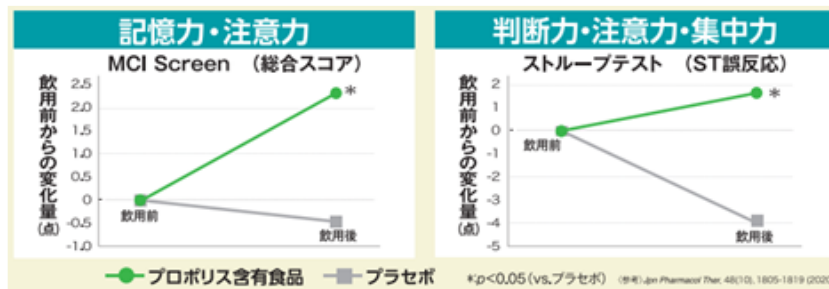
このプロポリスに認知機能に効果のある素材を組み合わせることで、より高い効果が期待できるのではという仮説の元、6 種類の素材を組み合わせたプロポリス含有食品を用いて、その効果を検証しました。

まず、配合素材のうちプロポリスエキス、イチヨウ葉抽出物、クルクミン、大豆由来ホスファチジルセリンを用いて各素材が相乗効果を示すか細胞試験で検証しました。その結果が以下の通りです。

- ・プロポリスエキス + イチヨウ葉抽出物の組み合わせにおいて、各素材単独の場合と比較して、相乗的に神経突起伸長が認められた。
- ・プロポリスエキスとクルクミンを組み合わせることで、各素材単独の場合と比較して、認知機能低下の要因となる慢性炎症の指標(NFκB)を抑制した。
- ・プロポリスエキスとクルクミンを組み合わせることで、各素材単独の場合と比較して、抗炎症や抗酸化に関わる遺伝子発現を調節する Nrf2 活性が相乗的に上昇した。

次に、6 種類の素材を組み合わせたプロポリス含有食品の効果をプラセボ対照二重盲検比較試験により評価しました。被験者はもの忘れの自覚がある 40~79 歳の男女を対象に行い、12 週間の飲用で実施しました。

その結果、認知機能検査の MCI Screen の総合スコア及び Cognitrax のストルーペテストに差が見られ、さらに炎症反応の抑制も確認されました。



プロポリスをはじめとした 6 種類の素材それぞれの作用に加え、素材同士の相乗効果によって、認知機能維持に高い効果を発揮していることが示唆されました。また、安全性についても確認されました。

認知機能を予防するためには、生活習慣の改善や運動、認知トレーニングなどの複合的アプローチが有効とされています。本研究を通じ、このプロポリス含有食品もそのための手段の 1 つとなることが期待されます。

【今後について】

超高齢社会において、認知症の予防は重要な課題の一つです。本研究結果は本邦における健康増進に大きく寄与するものと考えられます。山田養蜂場、並びにみつばち健康科学研究所は、プロポリスをはじめ、ローヤルゼリー、ミツバチ由来乳酸菌、はちみつなどのミツバチ製品に関する有用性研究や素材開発を通して予防医学の観点から「アピセラピー」を追究することで、お客様一人ひとりの健康寿命を延伸し、社会に貢献してまいります。